

# 愛老園だより

## 第101号

— 発行 —  
社会福祉法人 三友会  
伊勢崎市太田町686  
☎0270-23-2277

### 100歳を支えて 愛老園ヘルパー 小林 実樹

歳をとってきたら・・・  
「家族に迷惑をかけたくない」「ゆくゆくは施設で」と考えている人は少なくないのではないだろうか。100歳を超えても、自宅で暮らし続けている方を紹介したいと思います。

### 看護実習生にエール！ たかのホーム 梶山 佳代様

「たかのホームの皆さん、こんにちは！私たちは〇〇大学の学生です。今日は私達2人で考えてきた、ゲームと脳トレを行いたいと思います。楽しみにしてください！」

「はーい！」  
と大きな声で返事、お年寄りも素直です。

「みなさん、お元気ですね！」

学生さんに無条件で褒めていただきながら、和気あいあいとゲームの始まり。若者のアイデアに魅了されました。学生さんが来ると、気持ち若返って活気が出ます。

命を預かる大変なお仕事ですが、仕事の中で沢山の気付きが得られるでしょう。伝えるのが苦手な人も、

ます。

Aさん 106歳は娘さんとお孫さんと暮らしています。私たちヘルパーとしてはおむつ交換や食事介助で支援させていただいています。

「私も普通なら介護を受けている歳だよ」と娘さんは笑いながらおっしゃいます。

「周りでは、施設に入れないの？」  
って言う人もいたけど、お母さんは

対話する力を磨き、仕事で様々な職種の人とも上手に連携していけば、より良いケアに繋がるはず。多様な価値観に触れる機会が多いことをチャンスと考えて、己に対し充実感を持ち、他人との比較でなく「自分」を大切にしてください。大変だけれども、世の中に必須なお仕事です。自分達の目指す目標に向かって頑張ってくださいね。

皆さんの才能と行動力を存分に発揮し、今後もご活躍ください。これからもどうぞ、よろしくお願います。



昔から「施設には入りたくない」と言っていたからね。だから今、お母さんにとっては幸せなのかなと感じています。本人の口からはもう聞けないけど」と話されていました。人生100年の時代。自分はどう生きていきたいのか。周りに伝えていくことで自分らしさを失わずにいられるのでは・・・と感じます。

### 次の方から ご寄付を戴きました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

#### 愛老園

(令和5年2月7日、  
令和5年8月7日)

- ・ 太田町区 区長 海老沼保治
- ・ 安堀町区 区長 小島直一郎
- ・ 市内西小保方町 鹿沼 道雄
- ・ 中央町 岡田 武夫
- ・ 鹿島町 木暮 恒二
- ・ 本町 黒羽根生自
- ・ 安堀町 伊勢崎くらしの会 会長 中田 育代



六本木君子様 (愛老園)

### 編集手帳

『地域共生社会』は、年齢や性別・障害の有無に関係なく、すべての人が自分らしく幸せに暮らし続けることが出来る社会のことを言います。人生100年時代と言われる現代では、私たちが生活する上で抱える問題は複雑で、また1つではなく様々な問題を抱える人が多いと言われています。住み慣れた地域で共に支え合いながら幸せに暮らしていくために、愛老園も出来ることから始めていきたいと思っています。

### 『孤独・孤立問題』

社会福祉法人三友会 理事長 羽鳥 守

孤独・孤立対策推進法が令和五年五月三十一日、国会で可決成立しました。孤独・孤立問題は経済成長で子ども達が去った家に親が取り残され、高齢化し、子どもと別居し、夫・妻どちらかに先立たれて一人暮らし高齢者となり、生じた結果であると感じます。孤独・孤立は生活困窮者や二十〜三十歳代に多く表れている孤独感など、今日において社会問題化している課題は人と人とのつながり、地域とのつながりが薄れて生じたもので、社会全体の課題であると考えられます。

十年前、平成二十五年八月発行の愛老園だより第八十三号に、当園の取り組みを掲載し、取り上げました。今は「一人ぼっちにさせない対策」を目標に掲げ、施設内外で取り組んでいる所があります。私たちが働いている地域、又は生活している地域の生きづらさを感じさせない、支え合いの中で人生最後をどのように暮らし、どこで看取られ、一人ひとりが自分らしく生きぬくことを選ぶ社会の実現を夢見てお祈りします。福祉の仕事をして頂いていると、「まず」は生きづらさを変えていく事が、私たちの使命であるとの思いで自分らしさをもう一度取り戻す「居場所」作りをしてみたいと考えております。賛同される方は、一緒に参加・活動を！

### みんなで話して笑ってつながろう！

『人とつながる大切さを感じて』  
 高齢者相談センター 宮郷 神保 明梨

新型コロナウイルスが世界的に蔓延してから、今年で三年が経過しました。『新しい生活様式』として、不要不急の外出や三密を避ける事、手洗いうがいの推奨やマスクの着用等を心掛ける生活へ変化した事で今まで楽しんできた近所の方や友人との交流、カラオケやお茶会等を諦め、自宅に籠る生活が長く続いた方も多いと思います。自粛生活の長期化によって、心身機能に影響が出ている高齢者が急増している事が、現在、新たな社会課題となっています。

私たちが日々受ける相談の中にも、「筋力が落ちて歩くのが大変になった」「物忘れが目立ってきた」「気持ちが落ち込んでしまう」等、コロナ禍により外出が減り、人との関わりや運動の機会が減った事が一つの要因と考えられる相談が多く寄せられます。心身ともに健康で暮らしていくために、これからは感染対策と介護予防の両立がとて大切になってきます。

活動を休止していた地域のふれあいの居場所やミニデイサービス、公民館・会議所での趣味活動も感染対策を実施しながら徐々に再開し始めました。参加している皆さんはいきいきとした表情で笑顔も多く過ごされており、改めて『人と人が関わり合う機会』の大切さを感じます。私たちも、地域の高齢者の皆さんと顔を合わせ、直接お話しする機会がまた訪れた事とても嬉しく思っています。今後も、地域の皆さんがいつまでも健康で住み慣れた地域で過ごせるよう、ふれあいの居場所や地域活動に参加させていただき、健康に関する講話や体操・体力測定等ニーズに合わせて実施していきたいと考えています。

何歳になっても元気で自分らしく過ごせるように、まずは『人と繋がる・関わり合う機会』に参加してみませんか？

新型コロナウイルスが世界的に蔓延してから、今年で三年が経過しました。『新しい生活様式』として、不要不急の外出や三密を避ける事、手洗いうがいの推奨やマスクの着用等を心掛ける生活へ変化した事で今まで楽しんできた近所の方や友人との交流、カラオケやお茶会等を諦め、自宅に籠る生活が長く続いた方も多いと思います。自粛生活の長期化によって、心身機能に影響が出ている高齢者が急増している事が、現在、新たな社会課題となっています。

私たちが日々受ける相談の中にも、「筋力が落ちて歩くのが大変になった」「物忘れが目立ってきた」「気持ちが落ち込んでしまう」等、コロナ禍により外出が減り、人との関わりや運動の機会が減った事が一つの要因と考えられる相談が多く寄せられます。心身ともに健康で暮らしていくために、これからは感染対策と介護予防の両立がとて大切になってきます。

高齢者相談センター 宮郷 神保 明梨



### 美化活動に愛老園も取り組んでいます！

日頃より温かなご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私たち愛老園は、美しい環境づくりを通じて、地域共生を実現することを目指し、職員有志を集め、今年に入ってから二か月に一度、美化活動を行っています。



清掃活動を通じて、施設内外の美しさを保つことはもちろんのこと、私たち自身の心もスッキリと清められる気持ちを感じています。花壇に咲く花々を大切に植える一瞬、近隣の道を清掃する手応え、これらの瞬間は日々の疲れを忘れさせてくれるものとなっています。



これからも、私たちの心からの努力をもって、地域共生を追求し、皆さまに愛される施設づくりを進めてまいります。清掃活動を通じて得る喜びや感動を共有し、地域の皆様と共に、歩み続けることを誇りに思います。

今後心を入れてがんばります。皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 愛老園デイサービス

地域共生の温かい輪が、愛老園を彩っています。デイサービスとして、地域の皆様と共に歩み、日々の喜びと感謝を分かち合っています。近隣の興陽高校の生徒さんからの素晴らしい作品が、施設に新たな息吹を与えています。生徒さんの創造力と思いやりが、笑顔を届ける大切な手助けとなっています。また、ボランティアでいらしてくださる書道の先生が心温まる時間を提供してくださり、文字の美しさが心に寄り添います。そして、コーヒーやお茶を淹れにお越しいただくボランティアの方。その優しさが私たちの心に温もりを運んでくれます。

愛老園は、地域の皆様との絆を大切にし、共に過ごす日々の中で、ご利用者様、地域の皆様の一人ひとりの笑顔が私たちの励みとなっています。地域と共に築くこれからの日に笑顔が溢れることを願っています。皆様の暖かなご支援とご協力に心より感謝申し上げます。



伊勢崎興陽高校の皆さんから作品をいただきました



ボランティアの皆さんのご協力で楽しい時間に